

ちゃっきり娘養成講座第2回  
参加者が夢の吊り橋を体験

1日目：畑作業 2日目：寸又峡ハイキング



寸又峡・夢の吊り橋を渡る参加者たち

ちゃっきり娘養成講座の第2回は5月30、31日の両日、地名の農林業センターと寸又峡温泉を会場に開かれました。

1日目の作業は、農林業センターでの畑管理。雑草取りと、前回の講座で種まきして発芽しなかった部分に再度種まきを施しました。

2日目は、自然（木、鳥、花など）に詳しい鈴木正文さん（梅高）を講師に迎えて、寸又峡プロムナードコースで自然を学びながらの散策。正文さんの説明を、参加者たちは興味深く聞きながらゆっくりと歩きました。

散策の後は、みんなお待ちかねの「温泉」へ。寸又峡温泉の光山荘でゆったり温泉につかり、散策の疲れを癒しました。

exchange

千年の学校第8期基礎講座第2回  
「神楽」の奥深さを学ぶ

会場：山村開発センター大会議室



真剣な表情で神楽について学ぶ学生たち

千年の学校基礎講座（文化）第2回は5月30日、山村開発センターで開催されました。今年10月、国民文化祭・神楽フェスティバルが本町で開かれるため、神楽について見識を深めたいと開かれた本講座。県文化財保存協会理事の常葉学園短期大学石川純一郎名誉教授を招き講演会を開催しました。「神楽の世界・カミのパフォーマンス」と題した講演では、駿河神楽の分布状況や個々の神楽の特長、他地域との相違点などを石川名誉教授が解説。学生たちは興味深げに聞き入り、きたる国民文化祭に思いをはせました。

講演の最後には、全国各地の神楽映像が上映され、舞の美しさを堪能しました。千年の学校では、本講座で学んだことを踏まえて、神楽フェスティバルで協力活動をする予定です。

rediscovery

真夏の渇水！作物を守る準備はお済みですか？  
スプリンクラー・点検などご検討の方、使用状況・環境に応じた設計・お見積もりいたします。  
まだ未購入の方へ、ホーチキの火災警報機を日立工機が販売・2個以上がお得価格で好評販売中！

農機具の購入・修理・改造など、お気軽にご相談ください。地域のお店だからこそ、ていねいに分かりやすく、迅速に対応いたします！

前田機材

川根本町上長尾795-1  
I P電話 ☎050-3363-2252  
☎56-0006  
FAX56-0009

「絆」を実感した南麓祭

川根高等学校 生徒会副会長 長嶋歩

川根高校の「南麓祭・文化の部」は、6月第1週に開催されました。開催までの準備期間は、テーマを決めたり、宣伝広告、企画を練るなど大変でしたが、南麓祭が終わってしまっただけで、そんな日々が愛しくてたまりません。

わたしはステージ責任者という立場を与えられましたが、この仕事を引き受けるべきかとても悩みました。わたしは郷土芸能部の部長で、南麓祭の演奏を最後に、部活を引退します。ステージ責任者を受けると、まともに部活に参加できず、メンバーに迷惑をかけてしまうことが分かっていたので、生徒会をとるか部活をとるか、そんな質問をされている気がしていました。

わたしは悩んだ末にステージ責任者を引き受けました。部活には副部長を筆頭に、信頼できる仲間がたくさんいる。自分は与えられた仕事をきちんとこなし、別の方向から最高のステージをつくらう。そう心に決めて。

本年度は昨年度に比べステージ

発表が多く、書類整理やリハーサル之苦労が数倍にも感じられました。期限を過ぎても書類が提出されなかったり、説明のために集合をかけたまま来なかったりする団体がとても憎らしく思いました。

しかし、だんだんと形になっていくのが分かったり、精一杯練習している姿を目にしたりと、胸がわくわくしてそんなことはどうでもよくなり、応援したくなりました。

ほかにも、飲食関係や門のこと、生徒会企画など多くの仕事を抱え、開催直前には夜遅くまで作業する日々が続きました。連日の準備で疲労し、いやになることもありましたが、そんなときに聞こえてきたのが太鼓の音。仲間の頑張りや伝わってきた、自分も頑張ろうと思えました。

そして迎えた南麓祭初日。ステージ発表がメインの日です。今年には音響をセミプロの人たちに協力してもらい、わたしはその人たちと一緒に後ろの方で作業しました。そこからは全体を見ることが

できました。発表者の熱気が、照明の頑張りや、観客の盛り上がり、今までの苦労を帳消しにしてくれました。疲労を忘れるくらい興奮し、この仕事を引き受けて本当に良かったと思えました。

もちろん自分たちの発表も頑張りました。小さなミスはありましたが、気持ちの良い演奏ができて満足です。音が一つになり、叩くのが楽しくなる興奮、皆さんにも届いたでしょうか。

あれから約1カ月。落ち着きを取り戻しつつある学校生活はどことなく単調で、もう一度時間を巻き戻したい、あの場所で仲間たちと笑い合いたい、そんなことを考えてしまいます。しかしそれは叶わぬこと。わたしたちがこれからできることは、学校生活・学校行事を、悔いが残らぬよう満喫していくことです。

フレンドシップ（永遠の絆）  
この絆は確かに存在すると胸に刻み、川根高校を去る準備をしていこうと思います。



◀南麓祭での発表  
赤石太鼓の迫力ある演奏が  
体育館一杯に響いた

音が一つになる興奮を味わったと話す長嶋歩さん▶



column

3歳から、小・中・高校生までのパソコンスクール  
基礎から応用と、教科学習もベネッセのソフトで学ぶ

パソコンスクール アビバキッズ 本川根教室

TEL0547-59-3292

アビバキッズ

検索

